

忠岡町教委交渉

泉北教組は、2月6日に忠岡町教委と、年度末人事異動と支援学級に関する交渉を行いました。

援学級交渉の確認は左記のとおりです。
これで、和泉市・高石市・忠岡町との人事交渉が終了しました。

忠岡町教委人事交渉のまとめ (2019.2.6)

○教職員人事については、忠岡町人事基本方針に基づき行う。本人の希望については、一定考慮していく。

○「異動対象者」については、例年どおり、新任6年、その他は10年を基本にしている。

○欠員補充については、大変厳しい状況だが、引き続き定数配置に向け努力する。

○「異動対象者」適応除外については、以下の通りと認識している。

- ・生後1年未満の子女を育児中のもの。
- ・休職中及び長期病欠中のもの。
- ・妊娠中及び、産休中のもの及び高齢者のもの。

尚、高齢者については、今年度末で年齢が58歳以上のものである。

○再任用者の人事異動については、本人の合意に基づいて行うよう努力する。

○内示日は例年どおり3月下旬である。内示後の交渉については申し入れがあれば行う。

忠岡町支援学級からの要望についての主な確認

(2019.2.6)

○東忠岡小学校の現1年生が、3年生になったとき、1クラス44人の2クラスになるかもしれない、という状況にあることは認識している。

○介助員の増員については、現段階では困難である。支援学級に必要な人員の確保については、支援学級の増学級を府に要望していくことで対応したい。



連載

無理難題の小学校英語 でも、どうする⑪

子どもどうしの協同的な学び合いを大切に

教え込みではなく、子どもどうしの学び合いが大事です。それを協同学習と言っています。協同学習をやると子どもたちは生き生きしてきます。例えば、図書館で英語の授業をやると、子どもたちはいろいろなものを調べます。グループで旅行計画を作らせるとりくみでは、子どもたち同士が、読んで、書いて、話して、と全部使って学習します。そういう学習の中で、子どもたちの人間関係も安定してくるし、学力も伸びます。

統計を見ても、一斉講義型より、協同学習を取り入れた学習をすすめるほうが、英語が好きという子どもの割合が増えていきます。特に、成績の下位の子の「英語が好き」という割合が倍になって

います。中間の成績の子や上位の子も全部伸びてくる、という特徴があります。小学校英語は格差の早期化を招くものですが、それを防ぐには、こういう学び合いのスタイルをぜひ取り入れてほしいと思います。

また協同学習では、得意な子が苦手な子に教えます。もちろん答えは教えずに、ヒントを出すのです。相手の子が落ち込んだときも励ましてくれます。こういう協同学習を取



和歌山大学教育学部・英語教育 江利川 春雄

11回にわたり連載してきた「無理難題の小学校英語でもどうする」を今号で終了します。

連載内容は、2018年3月24日に開催された大阪教育文化センター第28回共同研究集会での、江利川春雄さんの講演でした。全文は、「おおさかの子どもと教育」92号（大阪教育文化センター発行）に掲載されています。購入を希望される方は泉北教組まで連絡ください。

「戦争法」を廃止させよう。子どもたちや自衛隊員を戦場に送るな。